

プログラム 第1日目 9月12日(金)

第1会場 3F コスモスI

9:00~10:30 シンポジウム 1

「糖尿病における認知症とサルコペニア・フレイル
(日本サルコペニア・フレイル学会合同シンポジウム)」

座長：荒井 秀典（国立長寿医療研究センター）

櫻井 孝（国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター）

S1-1 糖尿病と認知症発症、および脳画像との関連：久山町研究

三野原 敏文（九州大学大学院医学研究院 精神病態医学/
九州大学大学院医学研究院 衛生・公衆衛生学）

S1-2 高齢者糖尿病における認知機能低下予防を目指した多因子介入研究

杉本 大貴（国立長寿医療研究センター）

S1-3 糖尿病におけるサルコペニア予防対策 Update

浅原 哲子（国立長寿医療研究センター 糖尿病・内分泌内科/
国立長寿医療研究センター ジェロサイエンス研究センター
代謝・内分泌研究部）

S1-4 糖尿病を有する高齢者におけるフレイル・サルコペニア予防

笹井 浩行（東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム）

10:40~11:20 大会長講演

「新しい時代の認知症予防と地域共生社会
～地域を支えるかかりつけ医の視点から～」

座長：浦上 克哉（鳥取大学医学部認知症予防学講座（寄附講座））

演者：内門 大丈（医療法人社団彰耀会メモリーケアクリニック湘南）

11:20~11:50 前代表理事講演

「新たなステージに入った認知症予防～日本認知症予防学会に期待されること～」

座長：池田 佳生（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学）

演者：浦上 克哉（鳥取大学医学部認知症予防学講座（寄附講座））

12:00~12:50 ランチョンセミナー 1

「認知症予防とレカネマブ治療導入について」

座長：長田 乾（横浜総合病院臨床研究センター 横浜市認知症疾患医療センター）

演者：木村 成志（大分大学医学部神経内科学講座）

共催：エーザイ株式会社/バイオジェン・ジャパン株式会社

13:00~13:50

特別講演 1

「認知症予防のための Enabling Factor—Happiness-driven—」

座長：内門 大丈（医療法人社団彰耀会 メモリーケアクリニック湘南）

演者：武部 貴則（大阪大学 大学院医学系研究科/

ヒューマン・メタバース疾患研究拠点/東京科学大学 総合研究院/

シンシナティ小児病院 消化器部門・発生生物学部門/

幹細胞・オルガノイド医療研究センター/

横浜市立大学 コミュニケーション・デザイン・センター）

14:00~15:40

口演 1 「抗アミロイド β 抗体関連」

座 長：赤津 裕康（国立長寿医療研究センター ロコモフレイルセンター/
在宅医療・地域医療連携推進部）

福武 滋（平塚市民病院 脳神経内科）

評価委員：木村 成志（大分大学医学部脳神経内科）

01-1 当院における若年性アルツハイマー病患者に対する レカネマブ治療とその臨床的検討

江藤 優真^{1,2)}、井出 恵子^{1,2)}、深津 英希²⁾、首藤 正茂²⁾、玉井 佳菜子²⁾、山田 俊輔²⁾、
三浦 公実²⁾、吾妻 拓哉²⁾、山田 基文²⁾、野本 宗孝²⁾、浅見 剛²⁾

1)横浜市立大学附属病院 精神科、2)横浜市立大学医学部精神医学教室

01-2 抗アミロイド β 抗体薬の選択において患者及び家族が重視する要因の検討 ～当院症例からの報告～

北蘭 久雄、石原 倫美、須田 雄登、関根 大地、山口 聡太、桃原 理子、安部 恭嗣、
布施 彰久、野崎 博之

川崎市立川崎病院 脳神経内科

01-3 レカネマブ投与患者における ARIA 発現リスク因子の検討

新戸 裕美子¹⁾、井上 彰大¹⁾、荒井 園枝¹⁾、小林 加寿夫¹⁾、北蘭 久雄²⁾

1)川崎市立川崎病院 薬剤部、2)川崎市立川崎病院 脳神経内科

01-4 当院における抗アミロイド β 抗体薬投与患者における臨床的特徴と 本人・家族の意思決定プロセス

河野 雅隆^{1,2)}、井出 恵子²⁾、深津 英希²⁾、玉井 佳菜子²⁾、吾妻 拓哉²⁾、山田 基文²⁾、
福田 健太²⁾、山田 俊輔²⁾、澁谷 健太²⁾、川上 湧也²⁾、野本 宗孝²⁾、浅見 剛²⁾

1)横浜市立大学附属病院精神科、2)横浜市立大学 医学部 精神医学部教室

01-5 新潟市における抗 A β 抗体療法の医療連携について

成瀬 聡、矢島 隆二

総合リハビリテーションセンター・みどり病院 脳神経内科

01-6 多職種で取り組む認知症診療～レカネマブ導入から 1 年が経過して～

森木 章人¹⁾、内田 伸子²⁾、内田 泰史¹⁾、岡林 美由紀³⁾、戸田 かおり⁴⁾、市村 節子⁴⁾、
山本 知須⁵⁾、水口 紀代美⁶⁾、柿本 純⁷⁾

1)もみのき病院 脳神経外科、2)もみのき病院 精神科、3)もみのき病院 リハビリテーション科、
4)もみのき病院 看護部、5)もみのき病院 検査科、6)もみのき病院 放射線技術科、7)もみのき病院 地域連携室

01-7 レカネマブを用いた治療の現状と治療に対する患者の意識調査

本田 尚也¹⁾、古谷 佳美¹⁾、市川 大介¹⁾、上野 節子²⁾、涌谷 陽介³⁾

1)社会医療法人全仁会 倉敷平成病院 薬剤部、2)社会医療法人全仁会 倉敷平成病院 秘書課、
3)社会医療法人全仁会 倉敷平成病院 脳神経内科

01-8 診療所における抗アミロイドベータ抗体薬治療経験と地域連携について

村上 智子¹⁾、村上 太郎¹⁾、木元 鮎美²⁾

1)ふないうり脳クリニック、2)広島市江波地域包括支援センター

01-9 認知症予防専門薬剤師としてのヒト化抗アミロイド β モノクローナル抗体薬 適正使用への介入に対する検証

斎藤 剛志¹⁾、遠藤 雄司²⁾

1)医療法人 辰星会 枳記念病院薬剤科、2)医療法人 辰星会 枳記念病院脳神経外科

- 01-10 抗アミロイド β 抗体薬治療の院内体制づくりを通し見えてきた
認知症看護認定看護師としての果たすべき役割
高畑 良子¹⁾、北薮 久雄²⁾、布施 彰久²⁾、野崎 博之²⁾
1)川崎市立川崎病院 看護部、2)川崎市立川崎病院 脳神経内科

- 15:50~17:20 シンポジウム 6
「脳血管保護と認知症予防（日本脳血管・認知症学会合同シンポジウム）」
座長：池田 佳生（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学）
杉江 和馬（奈良県立医科大学 脳神経内科学講座）
- S6-1 脳卒中の急性期治療と再発予防からみる血管保護
田中 亮太（自治医科大学附属病院脳卒中センター/脳神経内科）
- S6-2 認知症予防における血管性危険因子
太田 康之（山形大学 医学部 内科学第三講座神経学分野）
- S6-3 脳小血管病による認知症
尾原 知行（京都府立医科大学 脳神経内科）
- S6-4 脳アミロイド血管症と認知症
新堂 晃大（三重大学 医学部 脳神経内科）

第2会場 3F コスモスⅡ

- 9:00~10:30 シンポジウム 2
「認知症予防戦略の確立へ向けて（日本脳サプリメント学会合同シンポジウム）」
座長：足立 弘明（産業医科大学 神経内科学講座）
杉江 和馬（奈良県立医科大学 脳神経内科学講座）
- S2-1 脳を守る生活習慣病対策と脳サプリメント
杉江 和馬（奈良県立医科大学 脳神経内科学講座）
- S2-2 認知症予防を目指した多因子介入プログラムの効果とその社会実装
古和 久朋（神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科学領域）
- S2-3 代謝性疾患と認知症
崎山 快夫（自治医科大学附属さいたま医療センター 脳神経内科 兼 総合健診部）
- S2-4 脳神経炎症と認知症予防の接点：プラスマローゲンの役割
藤野 武彦（レオロジー機能食品研究所/医療法人社団ブックス）
- S2-5 認知症に対する包括的なリハビリテーション
大沢 愛子（国立長寿医療研究センター リハビリテーション科）
- 12:00~12:50 ランチョンセミナー 2
「認知症対策と治療の最前線
—血管因子を中心にした予防戦略と新規治療開発の展望—」
座長：浦上 克哉（鳥取大学医学部認知症予防学講座（寄附講座））
演者：猪原 匡史（国立循環器病研究センター 脳血管部門 脳神経内科）
共催：株式会社太陽生命少子高齢社会研究所

13:00~13:50

特別講演 2

「Horticultural Therapy correlates to Dementia Prevention Strategy」

座長：西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）

演者：Damien Newman（Training, Education and Consultancy Manager, Thrive）

14:00~15:40

口演 2 「アルツハイマー病関連：基礎～臨床まで」

座長：池田 佳生（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学）

濱野 忠則（金沢医科大学高齢医学講座）

評価委員：横田 優樹（さくらさく診療所/日本大学医学部内科学系神経内科学分野）

02-1 アルツハイマー病(AD)の発症病理から糞便細菌叢解析による健常人、AD 予備群、MCI/AD の新規診断ツールの開発

大原 正志^{1,2,4)}、瀧 靖之^{1,2,3)}、山本 晋也^{2,3)}

1) 東北大学 加齢医学研究所 臨床加齢医学研究分野、2) 株式会社 Brainbiome、

3) 東北大学 加齢医学研究所 スマートエイジング学際重点研究センター、4) 医療法人財団暁 あきる台病院

02-2 アルツハイマー病モデルマウスにおける $A\beta$ 蓄積は骨格筋の障害を引き起こす

中井 剛^{1,2)}、浦野 友哉³⁾、祖父江 顕¹⁾、鈴木田 万里¹⁾、田口 慶³⁾、高橋 和男⁵⁾、山田 成樹¹⁾、山田 清文⁶⁾、渡辺 宏久^{6,7)}、山中 宏二⁸⁾、榎本 篤³⁾、溝口 博之²⁾

1) 藤田医科大学 医学部 薬物治療情報学、2) 名古屋大学大学院医学系研究科 医療薬学、

3) 名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍病理学、4) 名古屋市立大学大学院医学研究科 臨床薬理学分野、

5) 藤田医科大学 医学部 生体構造学、6) 藤田医科大学 精神・神経病態解明センター、

7) 藤田医科大学 医学部 脳神経内科学、8) 名古屋大学 環境医学研究所 病態神経科学分野

02-3 Syk 阻害剤によるタウ蛋白リン酸化とオリゴマー化の抑制機構

濱野 忠則^{1,2)}、山口 智久²⁾、浅野 礼²⁾、佐々木 宏仁²⁾、榎本 崇一²⁾、白藤 法道²⁾、

Nicholas M. Kanaan³⁾、Shu-Hui Yen⁴⁾、村山 繁雄⁵⁾、内木 宏延⁶⁾、大黒 正志¹⁾

1) 金沢医科大学 医学部 高齢医学、2) 福井大学医学部脳神経内科、3) Michigan State University、

4) Mayo Clinic Jacksonville、5) 東京都健康長寿医療センター プレインバンク、6) 福井大学医学部分子病理学

02-4 認知症のデジタル治療器具-LCD サングラス（第 4 報）

松田 智夫

R&D コンサルタント（株）コタニテック湘南

02-5 脳内微小出血を特定する MRI 位相値帯域の研究

米田 哲也¹⁾、織部 姫菜乃²⁾、安里 桃花¹⁾、榎林 哲雄³⁾、数井 裕光³⁾

1) 熊本大学大学院生命科学研究部画像診断技術学講座、2) 熊本大学医学部保健学科、3) 高知大学医学部神経精神科学講座

02-6 血漿バイオマーカー測定は特発性正常圧水頭症の治療管理へ応用できる

中島 円¹⁾、堀越 恒¹⁾、蒲原 千尋^{1,2)}、荻野 郁子¹⁾、宮嶋 雅一³⁾

1) 順天堂大学医学部附属順天堂医院 脳神経外科、2) 順天堂大学 老人性疾患病態・治療研究センター、

3) 順天堂大学 東京江東高齢者医療センター脳神経外科

02-7 視空間認知障害をきたした混合性認知症の一例

松山 賢一、森 美佳、元木 郁代、荒賀 哲也、杉田 大輔、山下 麻希、吉田 昇生、

佐堀 暢也、杉本 竜平、山名 浩史、宮軒 將

実風会 新生病院

02-8 コグニティブ・フレイルの簡便なスクリーニングを目指したデジタル評価システムの開発

勝久 美月^{1,2,3)}、武田 朱公^{1,2)}、伊藤 祐規^{1,2)}、前泉 優月^{2,3)}、岸野 義信⁴⁾、山本 翔^{2,4)}、

手代木 紳^{2,4)}、三木 渉⁴⁾、大河原 桃子^{2,4)}、赤坂 憲⁴⁾、山本 浩一⁴⁾、森下 竜一¹⁾

1) 大阪大学大学院 医学系研究科 臨床遺伝子治療学、

2) 大阪府立病院機構 大阪精神医療センター こころの科学リサーチセンター、

3) 大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻、4) 大阪大学大学院医学系研究科 老年・総合内科学

02-9 初期段階の慢性腎臓病患者における認知機能低下と抑うつ症状の特徴

安田 万里子¹⁾、谷 英俊¹⁾、久徳 弓子²⁾、三原 雅史²⁾

1) 川崎医科大学附属病院 臨床心理センター、2) 川崎医科大学 神経内科学

02-10 中年期に PTSD を伴う双極性感情障害で発症し、19 年後に DLB の症状が見られた MCI-LB の一例

夏莉 直己

（医）峻凌会やきつべの径診療所 認知症疾患医療センター

- 15:50~17:20 シンポジウム 7
「J-MINT 研究シンポジウム」
座長：杉本 大貴（国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 予防科学研究部）
沖 侑太郎（神戸大学大学院 保健学研究科）
- S7-1 J-MINT 研究からの新たな知見と今後の展開
内田 一彰（国立長寿医療研究センター 予防科学研究部）
- S7-2 J-MINT PRIME Tamba 研究からの新たな知見と今後の展開
沖 侑太郎（神戸大学 大学院 保健学研究科）
- S7-3 J-MINT PRIME KANAGAWA 研究からの新たな知見と今後の展望
井出 恵子（横浜市立大学 医学部 精神医学教室）
- S7-4 認知症予防を目指した多因子介入の世界の動向
櫻井 孝（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 研究所）

第3会場 5F オリオン

- 9:00~10:30 シンポジウム 3
「認知症予防と iNPH 診療（日本正常圧水頭症学会合同シンポジウム）」
座長：鈴木 正彦（東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座）
太田 康之（山形大学医学部第三内科神経学分野）
- S3-1 iNPH の最近の動向—prodromal iNPH も見据えて—
伊関 千書（東北大学大学院 高次機能障害学）
- S3-2 外科医の立場から考える認知症予防と iNPH
鮫島 直之（国家公務員共済組合連合会 東京共済病院 脳神経外科）
- S3-3 iNPH における認知症予防とタップテストの留意点
鐘本 英輝（大阪大学 キャンパスライフ健康支援・相談センター/
大阪大学大学院 医学系研究科 精神医学教室）
- S3-4 iNPH の実践的手引き書 オーバービュー
中島 円（順天堂大学医学部脳神経外科）
- 12:00~12:50 ランチョンセミナー 3
「認知症予防を目指した地域での実践と課題」
座長：佐治 直樹（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター もの忘れセンター）
演者：牧迫 飛雄馬（鹿児島大学 医学部 保健学科）
共催：東和薬品株式会社
- 13:00~13:50 特別企画
「認知症になっても、仲間とのつながりが支えになる」
座長：繁田 雅弘（栄樹庵診療所）
演者：三橋 昭（レビー小体型認知症当事者）

14:00～15:40

口演 3 「認知症の人と家族への支援」

座 長：杉江 和馬（奈良県立医科大学 脳神経内科学講座）
安田 秀（NTT東日本伊豆病院）
評価委員：長田 乾（横浜総合病院 臨床研究センター）

03-1 認知症患者の身体的自立度と介護者負担に関する検討

塩田 智^{1,2)}、杉江 和馬¹⁾
1) 奈良県立医科大学 脳神経内科、2) 宇陀市立病院 脳神経内科

03-2 MCI や認知症があるためにゴルフを諦めた人のゴルフサポートを プロゴルファーと協働で行った実践報告

稲田 秀樹¹⁾、日向野 夏子²⁾
1) 一般社団法人かまくら認知症ネットワーク、2) 一般社団法人日本リハネスゴルフ協会

03-3 認知症の人の意思決定を見守る：栄樹庵診療所の経験～薬物療法（内服・貼付）～

繁田 雅弘
メモリーケアクリニック湘南

03-4 認知症の人の意思決定を見守る：栄樹庵診療所の経験～子との同居～

繁田 雅弘
メモリーケアクリニック湘南

03-5 認知症の人の意思決定を見守る：栄樹庵診療所の経験～抗精神病薬の服用～

繁田 雅弘
メモリーケアクリニック湘南

03-6 認知症の人の意思決定を見守る：栄樹庵診療所の経験～施設入所～

繁田 雅弘
栄樹庵診療所

03-7 認知症本人の告知に関する要望：

認知症が分かったきっかけや告知のときに感じたこととの関係
繁田 雅弘¹⁾、半田 幸子²⁾
1) メモリーケアクリニック湘南、2) 生活構造研究所

03-8 「書くこと」「信じること」による自己内省で生きる希望を取り戻した 80 代女性の症例

瀬々 彩香¹⁾、川野 壮彦¹⁾、高橋 鉄平²⁾、牧 俊之³⁾、上野 真生⁴⁾、朝来野 あゆみ⁴⁾、後藤 美喜⁴⁾、
衛藤 健志⁵⁾、藤野 孝雄⁶⁾、木村 成志⁷⁾、松原 悦朗⁸⁾、川崎 隆⁹⁾
1) 白杵市医師会立コスモス病院 地域連携室、2) 白杵市医師会立コスモス病院 看護部、
3) 白杵市医師会立コスモス病院 薬剤部、4) 白杵市医師会立コスモス病院 リハビリテーション部、
5) 白杵市医師会立コスモス病院 内科、6) 藤野循環器科内科医院、7) 大分大学医学部神経内科学講座、
8) 白杵市医師会認知症先端医療学研究所、9) 別府大学大学院 臨床心理学専攻

03-9 認知症患者を支える介護者への支援～対応した事例からの考察～

額田 真由美^{1,2)}、金島 由佳^{1,2)}、高橋 誉文^{1,2)}、三宅 佳花^{1,2)}、久徳 弓子^{2,3)}、三原 雅史^{2,3)}
1) 川崎医科大学附属病院 患者診療支援センター、2) 川崎医科大学附属病院 認知症患者医療センター、
3) 川崎医科大学 神経内科学

03-10 介護保険サービスと成年後見制度の利用活用に向けた心理職による家族支援

吉武 亜紀^{1,2)}
1) 川崎医科大学総合医療センター 患者診療支援センター、2) 川崎医科大学高齢者医療センター 患者診療支援センター

15:50～17:20

シンポジウム 8

「まちを幸せにして健康に暮らす（イネーブリングシティ協会シンポジウム）」

座長：武部 貴則（大阪大学 大学院医学系研究科/東京科学大学 総合研究院/
横浜市立大学 コミュニケーション・デザイン・センター/
シンシナティ小児病院 消化器部門・発生生物学部門）

S8-1 Happy&Healthy なまちづくり「イネーブリングシティ」構想

西井 正造（横浜市立大学先端医科学研究センター）

- S8-2 幸福 (Happy) と健康 (Healthy) が両立するまち
—『くらしに溶け込む医療』の実践—
村田 尚寛 (社会医療法人 愛仁会 千船病院)
- S8-3 蒲郡市が進める「楽しい」を起点にした健康なまちづくり
石黒 美佳子 (愛知県蒲郡市役所)
- S8-4 認知症の本人の声をきき、マイクロハピネス等を愛でるコミュニティデザイン
西上 ありさ (studio-L/人とまちづくり研究所/早稲田大学人間総合研究センター)
- S8-5 都市空間の健康とウェルビーイング：科学とデザイン
花里 真道 (千葉大学 予防医学センター)

第4会場 6F 601

- 9:00~10:30 シンポジウム 4
「ソマティック心理学領域と臨床検査から認知症の予防とケアについて考える」
座長：松熊 美千代 (三井記念病院 臨床検査部)
江成 典子 (MTK衛生検査センター)
- S4-1 認知症予防のためのソマティック心理学からのアプローチの可能性
山口 創 (桜美林大学 リベラルアーツ学群)
- S4-2 臨床検査領域から認知症の予防とケアを考える
河月 稔 (鳥取大学 医学部 保健学科 生体制御学講座)
- S4-3 認知症におけるソマティック心理学とその架け橋となる臨床検査について考える
江成 典子 (MTK 衛生検査センター)

- 12:00~12:50 ランチョンセミナー 4
「抗アミロイド β 抗体治療における意思決定支援：患者中心の医療を目指して」
座長：瀧澤 俊也 (神奈川県総合リハビリテーションセンター/
神奈川リハビリテーション病院 脳神経センター/
東海大学 名誉教授)
- 演者：繁田 雅弘 (医療法人社団彰耀会 栄樹庵診療所/
東京慈恵会医科大学 名誉教授/
東京都立大学 名誉教授)

共催：日本イーライリリー株式会社

14:00~15:30

口演 4 「共生社会・まちづくり」

座 長：辻 正純（医療法人社団翔洋会 辻内科循環器科歯科クリニック）

山田 武志（公益社団法人 日本薬剤師会/株式会社Y&A 厚生堂薬局）

評価委員：磯 忍（特定非営利活動法人 芸術と遊び創造協会

高齢者アクティビティ開発センター）

04-1 認知症とともにによりよく生きるための参加型アート

ー地域における認知症診断後支援のためのパイロットスタディー

杉山 美香¹⁾、枝広 あや子¹⁾、海野 尚子¹⁾、豊田 莉子¹⁾、宮前 史子¹⁾、中山 莉子²⁾、名越 敬真¹⁾、古田 晶子^{3,4)}

1) 東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム、

2) 東京都健康長寿医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム、3) こころのケアのための芸術協会、

4) 順天堂東京江東高齢者医療センター メンタルクリニック

04-2 薬局の利用者を対象とした認知症の理解と関心の調査

根本 瞳¹⁾、西田 未散²⁾、藤沼 祥子³⁾、伊藤 明日香⁴⁾、高谷 朋土³⁾、宮本 育恵³⁾、野村 寛子⁵⁾、清塚 千夏³⁾

1) さくら薬局 さいたま東大成店、2) さくら薬局 恵庭恵み野店、3) さくら薬局グループ クラフト株式会社、

4) さくら薬局 藤が丘店、5) さくら薬局 上尾小泉店

04-3 企業向け認知症サポーター養成講座開催に向けた工夫と、 講座開催後も繋がり続ける仕組みづくりによって生まれた波及効果

小野 未架¹⁾、藤澤 沙樹¹⁾、衛藤 和子²⁾、後藤 さおり²⁾

1) 白杵市医師会地域包括支援センターコスモス、2) 白杵市高齢者支援課

04-4 演題取り下げ

04-5 一般社団法人神奈川オレンジネットワークの

認知症地域支援基盤強化のための情報共有の取り組み

稲田 秀樹、長田 乾、武井 和夫、コスガ 聡一、岸 正晴、尾崎 純郎、松浦 美知代

一般社団法人神奈川オレンジネットワーク

04-6 認知症当事者会による歩く認知症カフェの実践報告とその効果の考察

山隈 加奈子¹⁾、山隈 岳大²⁾、稲田 秀樹³⁾、佐藤 忍¹⁾

1) 湘南鎌倉医療大学 看護学部、2) 座間総合病院 看護部、3) 神奈川オレンジネットワーク理事

04-7 地域社会の多様な主体と連携した認知症啓発イベントの実践と試み

毛利 元和¹⁾、中村 洋明²⁾、尾崎 聡³⁾

1) 医療法人社団NALU、2) 株式会社メディカルガーデン、

3) えびな脳神経クリニック（神奈川県認知症疾患医療センター 連携型）

04-8 多職種で目指す早期介入の効果

～現実（いま）に見合った早期受診・早期治療の仕組みづくりを模索する～

日和田 正俊¹⁾、福田 隆浩¹⁾、井手 芳彦¹⁾、北島 春菜²⁾

1) 社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院 認知症疾患医療センター、

2) 社会医療法人財団白十字会 耀光リハビリテーション病院

04-9 福祉のまちづくり：サロン運営を中心としたソーシャルデザインの新たな構築。 8年連続満席 アクティブラーニングの多様性なる展開

山下 一郎¹⁾、浜本 美保¹⁾、中根 篤¹⁾、伊藤 朝香¹⁾、一條 純美枝¹⁾、森 利枝²⁾

1) 株式会社 豊田マネジメント研究所グループ TMI/Piash、

2) 社会福祉法人 名古屋市昭和区社会福祉協議会 松栄学区社会福祉協議会 民生委員

04-10 とっとり方式認知症予防プログラムの認知機能要素に

作業療法士の視点を組み合わせた体験版プログラムの提案：実施計画

仲田 奈生¹⁾、鳥飼 桃子²⁾、田住 秀之¹⁾

1) YMCA米子医療福祉専門学校 作業療法士科、2) 株式会社つむぎ

15:50~17:20 シンポジウム 9
「認知予備能を鍛える」
座長：長田 乾（横浜総合病院 臨床研究センター）

- S9-1 認知予備能を鍛えて、認知症予防
長田 乾（横浜総合病院・横浜市認知症疾患医療センター）
- S9-2 認知レジリエンス増強へのアプローチ
布村 明彦（東京都立松沢病院）
- S9-3 認知予備能の神経基盤
吉澤 浩志（東京女子医科大学八千代医療センター 脳神経内科）
- S9-4 Neucop-Q で地域に埋もれる患者さんを早期診断へ
伊達 悠岳（済生会横浜市東部病院）

第5会場 6F 606

9:00~10:30 シンポジウム 5
「専門性を超えて臨む神経精神疾患の診療連携
（N-P ネットワーク研究会合同シンポジウム）」
座長：馬場 康彦（福岡大学 脳神経内科学講座）
有川 量崇（日本大学松戸歯学部衛生学講座）

- S5-1 Midlife 以降のうつ病と認知症について—認知症予防の観点から
笠貫 浩史（聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室）
- S5-2 口腔機能と神経変性疾患、認知症性疾患の関連
眞鍋 雄太（神奈川歯科大学歯学部臨床先端医学系認知症医科学分野
認知症・高齢者総合内科）
- S5-3 Perry 病（Perry 症候群）から考える common disease
三嶋 崇靖（東邦大学医療センター佐倉病院脳神経内科）

12:00~12:50 ランチョンセミナー 5
「マインドリバイブ エンジュエキスとセージエキスの組み合わせによる
軽度認知障害に対する認知機能改善効果の評価」
座長：森下 竜一（大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学）
演者：Jonathan Jones（Monteloeder S.L.）

共催：ウィルファーム株式会社

14:00～15:40

口演 5 「認知症予防と運動」

座 長：櫻井 孝（国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター）
島田 裕之（国立長寿医療研究センター 研究所

老年学・社会科学研究センター）

評価委員：田野島 玲大（横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科
ヘルスデータサイエンス専攻）

O5-1 地域高齢者の姿勢と運動機能、認知機能との関係について

中村 美砂^{1,2,3}、今岡 真和¹、田崎 史江²、久保 峰鳴³、村上 達典¹、肥田 光正¹

1)大阪河崎リハビリテーション大学 リハビリテーション研究科、2)兵庫県立淡路景観園芸学校、
3)三重大学医学部附属病院 臨床研究開発センター

O5-2 急性期の早期離床におけるリハビリスタッフの意識調査 ＜PICS 対策と認知症予防への影響＞

西村 彰規¹、和田 拓弥¹、西川 晃希¹、小澤 和義¹、岡 英輝²

1)済生会滋賀県病院 リハビリテーション技術科、2)済生会滋賀県病院リハビリテーションセンター長

O5-3 人生 100 年時代、ヒップホップダンスで認知・身体機能向上効果 —対照群設定縦断研究

宮崎 敦子¹、奥山 卓¹、森 隼人²、佐藤 和久³、檜山 敦⁴

1)東京大学 先端科学技術研究センター 身体情報学分野、2)有限会社 スーパーリハ、3)株式会社 WARAKU、
4)一橋大学 大学院 ソーシャル・データサイエンス研究科

O5-4 高齢者における認知機能と心肺運動負荷試験所見との関係

山崎 球人¹、野田 明子^{1,2}、安間 文彦²、深町 郁葉¹、田口 真源³

1)中部大学大学院 生命健康科学研究科、2)中部大学 生命健康科学部、3)医療法人静風会大垣病院

O5-5 認知の予備能を定量評価する

鳴原 良仁^{1,2,3}、深沢 敬亮³、保子 英之¹、小林 桃子³、柴宮 溪太³、市川 小百合³、平田 容子³

1)北斗病院、2)十勝リハビリテーションセンター、3)熊谷総合病院

O5-6 メディカル脳活体操・メディカル脳活ストレッチ～高齢者への運動療法～

高橋 洋樹

運動療法 あいおい

O5-7 地域在住高齢者の認知機能に対する健康増進アプリの効果を検証する 研究参加者特性

中山 優豊¹、園田 悠馬^{1,2}、増本 康平^{2,3}、原田 和弘^{2,3}、打田 篤彦^{2,3}、近藤 徳彦^{2,3}、
原田 智礼⁴、澤田 敏男⁴、古和 久朋¹、秋末 敏宏¹

1)神戸大学大学院 保健学研究科、2)神戸大学ウェルビーイング先端研究センター、
3)神戸大学大学院 人間発達環境学研究科、4)住友生命保険相互会社

O5-8 認知機能低下をとまなう超高齢大腿骨転子部骨折術後患者の 早期歩行再獲得に向けてのリハビリテーションについて

安藤 研介

岡山赤十字病院 リハビリテーション科

O5-9 通所リハビリテーションでの集団体操における多職種連携（第 2 報） ～運動と認知課題と音楽を合わせた活動の効果～

雫 裕子¹、内田 泰史^{1,2,3}、北川 純平^{1,2}、山中 康太¹、柿本 香菜¹、田中 聖二¹、鈴木 芽衣¹

1)医療法人 恕泉会 介護老人保健施設ピアハウス高知、2)医療法人恕泉会 内田脳神経外科、
3)医療法人治久会 もみのき病院

O5-10 認知症予防教室終了後の認知機能や身体機能の変動やその要因の分析

河月 稔¹、藤田 恵子²

1)鳥取大学 医学部 保健学科 生体制御学講座、2)北栄町役場 福祉課

15:50～17:20 シンポジウム 10
「団塊の世代も喜んで参加するこれからのアクティビティ・ケア」
座長：多田 千尋（特定非営利活動法人 芸術と遊び創造協会
高齢者アクティビティ開発センター/福岡おもちゃ美術館）

- S10-1 認知症予防に活かす手頃にできるおしゃれ
岩井 ますみ（イリデセンス）
- S10-2 アクティブ音楽回想法を通した、団塊世代が元気になり、
介護や認知症予防につながる、これからの時代の音楽療法の可能性について
山下 一郎（株式会社 豊田マネージメント研究所 TMI/Piash）
- S10-3 介護予防・認知症予防に効果的なアクティビティ・トイの活用
磯 忍（芸術と遊び創造協会 高齢者アクティビティ開発センター）
- S10-4 介護医療院における心身を活性化するアクティビティ・ケアの取り組み
相良 かおり（医療法人社団一心会 初富保健病院 介護医療院）

第6会場 7F 701

9:00～9:40 教育講演 1
「“届ける力” が変える認知症予防—インフォデミック時代の医療情報発信」
座長：深澤 隆（医療法人財団青仁会青南病院/一般社団法人日本精神科病院協会）
演者：井上 祥（横浜市立大学 共創イノベーションセンター/株式会社 GENOVA/
京都大学）

9:50～10:30 教育講演 2
「認知症予防に効果的な生活習慣とは？」
座長：村上 秀友（昭和医科大学医学部内科学講座脳神経内科学部門）
演者：木村 成志（大分大学医学部神経内科学講座）

14:00～15:40 口演 6 「認知症初期集中支援、多職種連携」
座長：古和 久朋（神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科学領域）
高村 好実（一般社団法人 日本予防医療推進機構/
多摩大学医療介護ソリューション研究所）
評価委員：深澤 隆（医療法人財団青仁会青南病院/一般社団法人日本精神科病院協会）

O6-1 海老名市認知症初期集中支援チームの取り組み
渋谷 拓郎
医療法人社団NALU えびな脳神経クリニック

O6-2 A 県の認知症地域支援推進員における認知症の「予防」に対する関心
～研修アンケートの自由記載における比較～
進藤 由美¹⁾、平岩 勝²⁾
1) 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター、2) 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター

O6-3 離島における認知症支援体制構築に向けた DX・AI 活用と全国的展開の可能性
竹井 太
沖縄県認知症疾患医療センター うむやすみあす・ん診療所

06-4 地域における高齢のおひとりさまの終活・終身サポートの体制づくりの課題

上田 利枝
一般社団法人 キラメキ社会福祉士事務所

06-5 北海道千歳市における多職種協働で取組む認知症予防

山北 武¹⁾、佐々木 努²⁾、作田 直人³⁾、富永 壮⁴⁾、吉田 肇⁵⁾
1) 社会福祉法人 千歳市社会福祉協議会 千歳市介護予防センター、2) 北海道千歳リハビリテーション大学、3) 千歳病院、
4) 千歳市北区地域包括支援センター、5) 千歳市向陽台区地域包括支援センター

06-6 看護学生との比較から見えてきた
一般病棟看護師の認知症有病入院患者に対する困難感

丸山 貴志¹⁾、小山 明日香²⁾
1) 長崎国際大学 人間社会学部 社会福祉学科、2) 熊本学園大学 社会福祉学部

06-7 身体拘束に関する認識調査～多職種連携による身体拘束軽減の検討～

中山 愛子、上原 和也、谷 英俊、安田 万里子、金島 由佳、神野 俊克、久徳 弓子、
三原 雅史
川崎医科大学附属病院 認知症疾患医療センター 認知症ケアチーム

06-8 大学病院における認知症サポートチーム活動と課題について

尾形 剛¹⁾、飯村 綾子²⁾、片桐 直之³⁾、林 果林³⁾、田中 裕里³⁾、小島 詩織³⁾、井澤 香⁴⁾、
土屋 有希恵⁵⁾、池内 綾香³⁾、三嶋 崇靖¹⁾
1) 東邦大学 医療センター 佐倉病院 脳神経内科、2) 東邦大学 医療センター 佐倉病院 看護部、
3) 東邦大学 医療センター 佐倉病院 メンタルヘルスクリニック、4) 東邦大学 医療センター 佐倉病院 薬剤部、
5) 東邦大学 医療センター 佐倉病院 リハビリテーション部

06-9 認知症高齢者の HAD 予防のための IPW 教育プログラムの効果検討
—CICS29 による評価—

阿部 慈美¹⁾、内藪 真佐司²⁾、里村 洋子³⁾、白井 はる奈¹⁾、白星 伸一¹⁾、杉田 顕好⁴⁾、
登尾 弥生⁵⁾、松岡 千代⁶⁾、松永 清美⁷⁾、安本 厚子¹⁾、濱吉 美穂¹⁾
1) 佛教大学、2) 兵庫医科大学病院、3) 宝塚第一病院、4) 兵庫県立兵庫こころの医療センター、5) 市立伊丹病院、
6) 甲南女子大学、7) 西宮協立脳神経外科病院

06-10 ICT で支える認知症初期集中支援事業：
medical B.I.G. net を用いた新たな地域連携のかたち

本間 朱莉、上條 亮、倉田 良恵、松崎 美香子、野田 春希、吉田 勝臣、伴 正海、内門 大丈
医療法人社団彰耀会 メモリーケアクリニック湘南

15:50～16:30 教育講演 3

「認知症予防におけるアンチエイジングの活用」

座長：浦上 克哉（鳥取大学医学部認知症予防学講座（寄附講座））
演者：森下 竜一（大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学）

16:40～17:20 教育講演 4

「心房細動と脳梗塞および認知症」

座長：辻 正純（医療法人社団翔洋会 辻内科循環器科歯科クリニック）
演者：木村 和美（熊本大学 脳卒中治療学寄附講座）

ポスター会場 1 6F 607

14:00～15:10 ポスター 1 「アルツハイマー病関連 1」

座 長：瀧澤 俊也（神奈川リハビリテーション病院/東海大学）
評価委員：小林 良太（山形大学医学部精神医学講座）

P1-1 ドネペジル治療における課題：ドネペジル貼付剤の臨床での実践的な使用方法

鵜飼 克行¹⁾、松井 千恵^{1,2)}、加藤 貴代^{1,2)}
1) 総合上飯田第一病院 老年精神科、2) 総合上飯田第一病院 看護部（認知症看護認定看護師）

- P1-2 **抗アミロイド β 抗体薬治療における臨床的評価の検討**
野村 脩子¹⁾、中瀬 泰然¹⁾、難波 諒太郎¹⁾、白 海雲¹⁾、高野 由美¹⁾、舘脇 康子¹⁾、瀧 靖之²⁾
1) 東北大学病院 加齢・老年病科、2) 東北大学スマートエイジング学際重点研究センター
- P1-3 **アルツハイマー病患者のうつ症状および睡眠に対する
抗コリンエステラーゼ阻害薬の有用性**
笠原 浩生、池田 佳生
群馬大学 大学院 医学系研究科 脳神経内科学
- P1-4 **倉敷平成病院認知症疾患医療センターにおけるレカネマブ投与の現状**
涌谷 陽介、菱川 望、角田 慶一郎、松本 菜見子、高尾 芳樹
倉敷平成病院 脳神経内科・認知症疾患医療センター
- P1-5 **アルツハイマー型認知症に対するドネペジル経皮吸収剤についての検討**
武久 康¹⁾、川口 洋子¹⁾、玉川 理恵²⁾、高谷 実乃里²⁾、小川 さおり²⁾
1) 岡山赤十字病院 脳神経内科、2) 岡山赤十字病院 リハビリテーション科
- P1-6 **ピタバスタチンはオートファジーを活性化してタウオリゴマーを減少させる**
山本 良太^{1,3)}、兎田 麗有³⁾、濱野 忠則^{2,3)}
1) 国立長寿医療研究センター、2) 金沢医科大学 高齢医学講座、3) 福井大学 医学部
- P1-7 **アミロイド β 標的治療に関する地方導入病院の役割**
川井 元晴、高橋 志織、加藤 幹元、橋口 英志、神田 隆
脳神経筋センターよしみず病院

15:10～16:10 **ポスター 4 「共生社会・まちづくり 1」**
座 長：武川 吉和（平塚共済病院 心身医療科）
評価委員：日暮 雅一（医療法人社団正念 ほどがや脳神経外科クリニック）

- P4-1 **若年性認知症の支援の実践—院内認知症カフェからの発信**
塩崎 一昌^{1,2)}、川中 洋至¹⁾、内山 恵¹⁾
1) 横浜市総合保健医療センター 診療所、2) 横浜市立大学・医学部・精神医学
- P4-2 **福島県伊達市保原町におけるチームオレンジ発足から 1 年間の活動報告**
神保 良平¹⁾、倉戸 真由美¹⁾、森 美樹¹⁾、藤田 貴昭²⁾
1) 伊達市保原地域包括支援センター、2) 福島県立医科大学保健科学部作業療法学科
- P4-3 **認知機能の見える化をきっかけにした認知症予防に対する意識変化の試み
～アプリの活用による生活変容を目指した認知症予防～**
稲橋 秀樹、佐藤 美佐江、高澤 優美、青木 颯汰、金子 淳一
医療法人社団心の絆蓮田よつば病院
- P4-4 **認知症サポーター養成のための HBG 看護カフェプログラムと学生の学び**
土肥 敏博¹⁾、山内 京子¹⁾、加藤 重子¹⁾、進藤 美樹¹⁾、岡田 京子¹⁾、浅香 真由巳¹⁾、
高橋 登枝枝²⁾、佐々木 秀美¹⁾
1) 広島文化学園大学 看護学部 看護学科、2) 周南公立大学人間健康学部看護学科
- P4-5 **「認知症の人と家族の一体的支援プログラム」現場の視点から
SHIGETA ハウスプロジェクトが伝えたいこと**
上原 孝介
一般社団法人 栄樹庵 SHIGETAハウスプロジェクト
- P4-6 **「まちの保健室」を通して、地域包括支援センター保健師の役割を考える**
飯田 聖子、小出 千栄、小阪 知里、美浦 麗奈
名古屋市 名東区 南部 いきいき（地域包括）支援センター

14:00~15:10 ポスター 2 「アルツハイマー病関連 2」

座 長：三嶋 崇靖（東邦大学医療センター佐倉病院脳神経内科）

評価委員：馬場 康彦（福岡大学 脳神経内科学講座）

P2-1 両末端カテコール構造を有するアミロイド β 凝集抑制及び凝集解離分子の合成

大石 真悠子、上田 一樹、朝山 章一郎

東京都立大学 大学院 都市環境科学研究科 環境応用化学域

P2-2 Alzheimer 病と診断されていた Creutzfeldt-Jakob 病の一例

眞鍋 雄太

神奈川歯科大学 歯学部 臨床先端医学系 認知症医科学分野 認知症・高齢者総合内科

P2-3 若年性認知症におけるアートを通じた中学生との世代間交流の有用性

古田 晶子^{1,2)}、堀田 麻実²⁾、池原 裕可里²⁾、柏木 美和子²⁾、遠藤 信裕³⁾、池田 めぐみ³⁾

1) 順天堂東京江東高齢者医療センター メンタルクリニック、2) 一般社団法人 こころのケアのための芸術協会、

3) なぎさ楽苑

P2-4 脳の灰白質容積調整下での嗅覚、認知機能検査データの関連性検討

佐藤 守一¹⁾、今枝 孝夫¹⁾、麦倉 俊司²⁾、森 菜緒子²⁾、高梨 昌樹¹⁾、早川 和美¹⁾、長神 風二²⁾、布施 昇男²⁾、荻島 創一²⁾、中村 智洋²⁾、齊藤 智²⁾、栗山 進一²⁾、寶澤 篤²⁾

1) (株) 豊田中央研究所 バイオインスパイアードシステム研究領域、2) 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

P2-5 ドネペジル塩酸塩内服後にレカナマブ適応となり投与に至った一例

遠藤 雄司¹⁾、遠藤 勝洋¹⁾、石川 敏仁¹⁾、佐藤 直樹¹⁾、太田 守¹⁾、齋藤 剛志²⁾

1) 桃記念病院 脳神経外科、2) 桃記念病院 薬剤科

P2-6 タイ王国の地域在住高齢者の認知機能と生活の質に関する横断的研究

萬屋 京典¹⁾、清水 暢子²⁾、山田 恭子³⁾、長谷川 昇⁴⁾、小林 実夏⁵⁾、加藤 真弓⁶⁾、梅村 朋弘⁷⁾、Antonio Oliveira Nzinga Rene²⁾、Piyathorn Rengrew⁸⁾、Pattaranai Chaiprom⁸⁾、Patana Nakatong⁸⁾、Kamolthip Thipsungwan⁸⁾

1) 星城大学、2) 富山県立大学、3) 佛教大学、4) 同志社女子大学、5) 大妻女子大学、6) 愛知医療学院大学、7) 愛知医科大学、8) Lampang Rajabhat University

P2-7 高齢ドライバーの認知機能および視認機能が運転挙動に及ぼす影響

並木 靖幸¹⁾、鈴木 美緒²⁾、平塚 喜之¹⁾

1) NPO法人高齢者安全運転支援研究会、2) 東海大学

15:10~16:10 ポスター 5 「認知症予防と運動、栄養、口腔・嚥下」

座 長：金城 瑞樹（医療法人優雅 東林間/鶴間かねしろ内科クリニック/
杏林堂クリニック）

評価委員：荒川 千晶（医療法人社団礼恵会 むすび葉クリニック渋谷）

P5-1 配食サービス事業における認知症予防（一次・二次・三次）への取り組み

佐々木 健

株式会社 フォースマイル

P5-2 咀嚼運動による唾液中 irisin 分泌促進と認知症予防

讃井 真理¹⁾、森田 克也¹⁾、酒井 規雄¹⁾、土肥 敏博²⁾

1) 広島大学 大学院 医系科学研究科、2) 広島文化学園大学 看護学部

P5-3 認知機能低下予防を目的とした日本人向け食事スコアの作成

壹岐 ひかり¹⁾、オガワ 淑水²⁾、館脇 康子³⁾、ティロー バンジャマン⁴⁾、瀧 靖之^{2,4)}、内田 和宏⁵⁾、古園 千遥⁵⁾、二宮 利治⁶⁾、JPSC-AD研究グループ⁶⁾

1) 東北大学大学院 医学系研究科 医科学専攻 臨床加齢医学研究分野、

2) 東北大学 加齢医学研究所 脳科学研究部門 臨床加齢医学研究分野 スマート・エイジング学際重点研究センター、

3) 東北大学 加齢医学研究所 脳科学研究部門 臨床加齢医学研究分野 加齢・老年病科、

4) 東北大学 加齢医学研究所 脳科学研究部門 臨床加齢医学研究分野、5) 中村学園大学 栄養科学部 栄養科学科、

6) 九州大学大学院 医学研究院 衛生・公衆衛生学分野

**P5-4 カフェインレス薬膳茶レクリエーションが
口腔機能と尿失禁関連 QOL に及ぼす効果**

宮崎 敦子¹⁾、井上 義郎²⁾、木村 信之³⁾、木村 真介³⁾、檜山 敦⁴⁾

1) 東京大学 先端科学技術研究センター 身体情報学分野、2) 医療法人 祥義会、3) TOPPAN株式会社、
4) 一橋大学 大学院ソーシャル・データサイエンス研究科

**P5-5 病院歯科における認知症予防に向けた取り組み
～口腔衛生管理による在院日数短縮効果～**

田口 千恵子¹⁾、谷野 弦²⁾、織茂 由香里²⁾、五十嵐 憲太郎³⁾、鈴木 到¹⁾、長島 輝明⁴⁾、
千葉 容太⁴⁾、遠藤 千愛⁴⁾、鈴木 陽香¹⁾、鈴木 英明⁵⁾、内山 敏一⁶⁾、石井 良昌⁷⁾、有川 量崇¹⁾

1) 日本大学 松戸歯学部 衛生学講座、2) 社会医療法人 名戸ヶ谷病院 歯科・歯科口腔外科、
3) 日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座、4) 日本大学大学院松戸歯学研究科歯学専攻（衛生学）、
5) 千葉県健康福祉部健康づくり支援課 口腔保健支援センター、6) 日本歯学部松戸歯学部保存修復学講座、
7) 日本大学松戸歯学部 口腔外科学講座

P5-6 認知症予防にオーダーメイドコンディショニング活用のすすめ

菅原 利之

スモールジム阿佐ヶ谷

ポスター会場 3 6F 609

14:00～15:10 ポスター 3 「精神症状・レビー小体型認知症」

座 長：村岡 寛之（北里大学医学部精神科学）

評価委員：井上 祥（株式会社 GENOVA/

横浜市立大学 共創イノベーションセンター）

P3-1 抑うつ状態の患者に TwiddleMuff を使用し精神的な変化が見られた一例

上野 真生¹⁾、藤野 孝雄²⁾、安藤 真次¹⁾、真田 康孝¹⁾、高橋 鉄平³⁾

1) 白杵市医師会立コスモス病院 リハビリテーション部、2) 藤野循環器科内科医院、3) 白杵市医師会立コスモス病院 看護部

**P3-2 アルツハイマー型認知症患者の放尿放便改善へのアプローチ
精神科病棟の行動制限最小化と入院期間短縮化の観点より**

佐藤 美佐江、細田 恵子、畠山 英記、折原 美佐子、清水 陽子

医療法人社団 心の絆 蓮田よつば病院

**P3-3 認知症高齢者の BPSD に対する家族介護者の援助要請行動および
認知症スティグマの関連**

萬屋 京典¹⁾、齊藤 千晶²⁾、藤井 啓介³⁾、吹田 晋¹⁾、長安 大樹⁴⁾、後呂 智成⁵⁾、伊藤 篤史⁶⁾、
大中 卓哉⁷⁾、花岡 秀明⁸⁾

1) 星城大学、2) 認知症介護研究・研修大府センター、3) 鈴鹿医療科学大学、4) グッドタイムクラブ・グランド萩、
5) 紀和病院、6) 共和病院、7) 介護老人保健施設 あすらや荘、8) 広島大学

**P3-4 認知症予防専門士による認知症治療病棟での実践報告
BPSD+Q を活用したチームケアと暮らしの質の向上に向けて**

織田 剛

リハビリディサービスGENKI

P3-5 故小阪憲司先生の足跡 1：レビー小体病概念・診断法・治療法の確立

鵜飼 克行

総合上飯田第一病院 老年精神科

P3-6 故小阪憲司先生の足跡 2：レビー小体型認知症研究会と当事者家族を支える会

鵜飼 克行

総合上飯田第一病院 老年精神科

**P3-7 Pure autonomic failure で発症して診断と治療に難渋した
レビー小体型認知症の 1 例**

鵜飼 克行、松井 千恵、加藤 貴代、山本 梨加、野村 美夢

総合上飯田第一病院 老年精神科

15:10～16:10

ポスター 6 「認知症の非薬物療法」

座 長：井上 祥（株式会社 GENOVA/
横浜市立大学 共創イノベーションセンター）
評価委員：杉山 美香（東京都健康長寿医療センター研究所
自立促進と精神保健研究チーム）

P6-1 手指機能の改善によるフレイル予防へのアプローチ

黒岩 祐樹¹⁾、磯 忍²⁾、高山 陽子²⁾、鈴木 亮二¹⁾

1) 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 医療情報学科、2) 芸術と遊び創造協会 高齢者アクティビティ開発センター

P6-2 薬剤師による認知症のひとへの服薬リハビリテーションの実践
～減薬をきっかけにポリケアによる廃用症候群から回復した症例～

藤原 将平
南天薬局

P6-3 A 病院における院内デイケアの取り組みと今後の課題

小林 あゆみ、金子 多恵子、今井 紗耶佳、柏木 優花
JA岐阜厚生連 飛騨医療センター 久美愛厚生病院

P6-4 認知症本人と家族へのアートセッション実践報告

矢村 圭介¹⁾、古田 晶子^{1,2)}、山田 真紀子¹⁾、柴田 展人¹⁾

1) 順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター、2) 一般社団法人こころのケアのための芸術協会

P6-5 非薬物療法ハンドケアの軽度認知障害（MCI）の改善効果

佐々木 晶子¹⁾、小浦 誠吾²⁾、池田 明子³⁾、小口 達敬¹⁾

1) 昭和医科大学、2) 西九州大学大学院 修士課程 保健医療学博士後期課程、3) ソフィアフィットセラピーカレッジ

P6-6 グループホームの利用者様の機能訓練『エコバックづくり』から
地域づくり・意欲の引き出し

石井 香織、添田 さとみ
ニチイ学館 ニチイケアセンター戸塚柏尾

プログラム 第2日目 9月13日(土)

第1会場 3F コスモスI

8:50~10:20 シンポジウム 11

「疾患修飾薬の現状と課題」

座長：鈴木 正彦（東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座）
荒川 千晶（医療法人社団礼恵会 むすび葉クリニック渋谷）

S11-1 認知症疾患修飾薬診療におけるモニタリング画像の課題と展望

石井 賢二（都健康長寿医療センター 神経画像）

S11-2 抗アミロイドβ抗体薬の実臨床と課題

井原 涼子（東京都健康長寿医療センター 脳神経内科）

S11-3 疾患修飾薬の展望とタウ病理

三條 伸夫（東京科学大学大学院脳神経病態学分野（脳神経内科）/
九段坂病院 内科（脳神経内科））

S11-4 神経病理から考える疾患修飾薬

齊藤 祐子（東京都健康長寿医療センター 神経病理）

10:30~12:00 シンポジウム 16

「認知症の人の自分らしさを支えるケア（日本認知症ケア学会合同シンポジウム）」

座長：日暮 雅一（医療法人社団正念 ほどがや脳神経外科クリニック）
高澤 留美子（日本の介護株式会社）

S16-1 認知症カフェとミーティングセンター

上原 孝介（一般社団法人栄樹庵 SHIGETA ハウスプロジェクト）

S16-2 診断後支援の人によるピアサポート

青山 聡子（医療法人社団ひかり会 のぞみメモリークリニック）

S16-3 認知症の診断後支援における経済支援の重要性と課題

竹本 与志人（岡山県立大学 保健福祉学部 現代福祉学科）

S16-4 認知症ケアにおける意思決定

繁田 雅弘（栄樹庵診療所）

12:15~13:05 ランチョンセミナー 6

「認知症医療の質の向上をめざして～貼付剤の有効活用～」

座長：櫻井 孝（国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター）
演者：浦上 克哉（鳥取大学医学部認知症予防学講座（寄附講座））

共催：興和株式会社

13:15~14:05 特別講演 3

「認知症の人の話をいかに聴きいかに共感するか：認知症の精神療法 ～認知症の人のACPについて考えた PART2～」

座長：杉江 和馬（奈良県立医科大学 脳神経内科学講座）
演者：繁田 雅弘（栄樹庵診療所）

14:15～15:15

口演 7 「MCI・若年性認知症」

座長：浦上 克哉（鳥取大学医学部認知症予防学講座（寄附講座））

村上 秀友（昭和医科大学医学部内科学講座脳神経内科学部門）

評価委員：萩原 悠太（聖マリアンナ医科大学 脳神経内科）

07-1 スマートフォンを用いた音声ベースの認知機能評価検査開発の試み —認知機能低下に対する検出性能—

鈴木 宏幸¹⁾、山城 大地¹⁾、佐藤 研一郎¹⁾、高橋 佳史¹⁾、小川 将¹⁾、木戸 裕希¹⁾、松永 博子¹⁾、
松島 創一郎²⁾、清野 隼史²⁾

1) 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加とヘルシーエイジング研究チーム、2) 株式会社IGSA

07-2 スマートフォンを用いた音声ベースの認知機能評価検査開発の試み —妥当性の検討—

山城 大地¹⁾、佐藤 研一郎¹⁾、高橋 佳史¹⁾、小川 将¹⁾、木戸 裕希¹⁾、松永 博子¹⁾、松島 創一郎²⁾、
清野 隼史²⁾、鈴木 宏幸¹⁾

1) 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加とヘルシーエイジング研究チーム、2) 株式会社IGSA

07-3 MCI 支援体制の構築と課題

～早期診断、早期介入、そして地域移行へ向けた取り組み～

堀田 牧代^{1,2,3)}、木村 亜紀子^{1,3)}、木村 卓^{1,4)}、宇和 典子^{1,5)}

1) 兵庫医科大学病院 認知症患者医療センター、2) 兵庫医科大学病院 看護部、3) 兵庫医科大学病院 医療社会福祉部、
4) 兵庫医科大学 脳神経内科、5) 兵庫医科大学 精神科神経科

07-4 急性期病院整形外科入院患者における MCI 率

安藤 研介

岡山赤十字病院 リハビリテーション科

07-5 高齢化率の高い地域（鳥取県琴浦町）における認知症スクリーニング体制の構築

下田 有紀¹⁾、角 和香¹⁾、西本 亜希子²⁾、荒木 さおり²⁾、河月 稔¹⁾、浦上 克哉¹⁾

1) 鳥取大学 医学部 保健学科、2) 鳥根県立大学 看護栄養学部 看護学科

07-6 若年性認知症患者の生活・就労・介護上の困りごとに対するアンケート調査

三宅 佳花^{1,2)}、金島 由佳^{1,2)}、中畑 海咲^{1,2)}、谷 英俊^{2,3)}、安田 万里子^{2,3)}、久徳 弓子^{2,4)}、
三原 雅史^{2,4)}

1) 川崎医科大学附属病院 患者診療支援センター、2) 川崎医科大学附属病院 認知症患者医療センター、
3) 川崎医科大学附属病院 臨床心理センター、4) 川崎医科大学 神経内科学

15:20～16:20

厚生労働省講演

「介護保険を取り巻く現状と日本認知症予防学会への期待」

座長：岡田 就将（東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 医歯学専攻
環境社会医歯学講座 政策科学分野）

演者：堀 裕行（厚生労働省）

16:30～18:00

シンポジウム 21

「高齢者の身近な移動手段確保が認知機能維持に果たす役割の検討」

座長：堀川 悦夫（佐賀大学理工学部 生体医工学・福岡国際医療福祉大学）
加藤 博巳（NOK株式会社）

S21-1 モビリティ支援の現状～全国的な視点から～

中根 裕（特定非営利活動法人全国移動サービスネットワーク）

S21-2 チョイソコに見る移動支援サービスの開発過程と展開

杉山 仁（株式会社アイシン）

S21-3 高齢者の移動を守る—地域交通のミライに向けたチャレンジャー

塚田 雄也（川崎市 まちづくり局 交通政策室）

S21-4 タクシーが取り組む高齢者外出支援事業

篠原 俊正（株式会社ハートフルタクシー）

第2会場 3F コスモスⅡ

8:50~10:20 シンポジウム 12

「認知症予防における療法士の役割（日本老年療学会合同シンポジウム）」

座長：浦上 克哉（鳥取大学医学部認知症予防学講座（寄附講座））

島田 裕之（国立長寿医療研究センター 研究所
老年学・社会科学研究センター）

S12-1 理学療法士としての認知症予防に対する取り組み

片山 脩（国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター
予防老年学研究部）

S12-2 生活リズムの維持と習慣化—作業療法士が支える認知症予防—

久米 裕（秋田大学 医学系研究科 保健学専攻 作業療法学講座）

S12-3 医療現場における認知症予防への言語聴覚士の関わり

高山 優子（名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院）

S12-4 認知症予防における療法士が知るべき画像診断の基礎知識

児玉 直樹（新潟医療福祉大学）

10:30~12:00 シンポジウム 17

「抗アミロイド β 抗体時代における脳神経外科医の役割
（日本脳神経外科認知症学会合同シンポジウム）」

座長：岩原 昭彦（京都女子大学心理共生学部）

中根 一（帝京大学医学部附属溝口病院 脳神経外科）

S17-1 問診票を活用した認知症のスピードスクリーニング

唐澤 秀治（初富保健病院 脳神経外科）

S17-2 主観的認知機能低下（SCD）をめぐる包括的アプローチ：
予防医療における脳神経外科医と心理職の協働に向けて

岩原 昭彦（京都女子大学心理共生学部）

S17-3 抗アミロイド β 抗体治療に対する脳神経外科の取り組みと
精神科主体の認知症疾患医療センターとの関わり

上田 孝（医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 脳神経外科）

S17-4 抗アミロイド β 抗体治療が開始された後の当精神科診療所の診療の変化と
脳神経外科への期待

塩崎 一昌（横浜市総合保健医療センター 診療所）

S17-5 要介護 1~2 の認知症患者をいかに減らすか
～レケンビ・ケサンラ点滴治療と水頭症手術の推進～

厚地 正道（厚地脳神経外科病院）

12:15~13:05 ランチョンセミナー 7

「アルツハイマー型認知症の新たな選択肢

～本邦唯一の適応を取得したレキササルティの BRIDGE 試験紹介～」

座長：内門 大丈（メモリーケアクリニック湘南）

演者：中村 祐（香川大学医学部 精神神経医学講座）

共催：大塚製薬株式会社

13:15~14:05 特別講演 4

「高齢社会における脳神経外科医の新たな使命

—認知症診療の最前線—

座長：鈴木 正彦（東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座）

演者：中根 一（帝京大学医学部附属溝口病院脳神経外科）

14:15~15:35 口演 8 「認知症の神経心理検査と評価法」

座 長：森下 竜一（大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学）

高橋 牧郎（関西医科大学 神経難病医学講座）

評価委員：日暮 雅一（医療法人社団正念 ほどがや脳神経外科クリニック）

O8-1 まちの保健室の相談会における参加住民の生活機能の年代別比較

左巴 誠人¹⁾、今西 直美²⁾、龍神 正導³⁾、兼田 絵美⁴⁾、上城 憲司⁵⁾

1)和歌山市社会福祉協議会、2)地域包括支援センター高松、3)龍神整形外科、4)東京医療保健大学、5)宝塚医療大学

O8-2 自己申告型「Yes/No」調査票は認知症の早期診断に有用である—福井県での試み—

兎田 麗有¹⁾、永田 美和子²⁾、松原 六郎³⁾、池端 幸彦⁴⁾、伊藤 達彦⁵⁾、伊部 晃裕⁶⁾、大黒 正志⁷⁾、濱野 忠則^{1,7)}

1)福井大学 医学部 脳神経内科、2)中村病院 脳神経内科、3)松原病院、4)池端病院、5)すこやかシルバー病院、

6)伊部病院、7)金沢医科大学 医学部 高齢医学科

O8-3 75 歳以上を含む高齢者を対象とした集団での標準化認知機能検査の解析

熊谷 諒子¹⁾、園田 悠馬²⁾、古和 久朋¹⁾

1)神戸大学大学院 保健学研究科 認知症予防推進センター、2)神戸大学 ウェルビーイング先端研究センター

O8-4 タッチパネル式老年期うつ病尺度（GDS）を利用した
軽度認知障害のスクリーニング

山本 翔²⁾、手代木 紳^{1,2)}、大山 茜¹⁾、伊藤 祐規^{1,3)}、勝久 美月¹⁾、仲谷 佳高¹⁾、板東 ひろみ¹⁾、
田中 さやか¹⁾、河本 浩司¹⁾、橋本 衛¹⁾、岩田 和彦¹⁾、塩坂 貞夫¹⁾、武田 朱公^{1,3)}

1)大阪大学大学院 医学系研究科 老年・総合内科学、2)大阪精神医療センター・こころの科学リサーチセンター、

3)大阪大学大学院 医学系研究科 臨床遺伝子治療学

O8-5 アイトラッキング式 Stroop 検査法と機械学習による
前頭葉機能障害のスクリーニング

山本 翔¹⁾、武田 朱公²⁾、伊藤 祐規²⁾、手代木 紳¹⁾、三木 渉¹⁾、鷹見 洋一¹⁾、竹屋 泰³⁾、
山本 浩一¹⁾、森下 竜一²⁾

1)大阪大学大学院 医学系研究科 老年・総合内科学、2)大阪大学大学院 医学系研究科 臨床遺伝子治療学、

3)大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 老年看護学研究室

O8-6 日本人高齢者の認知機能評価における Cogstate Brief Battery の有用性の検討

安高 拓弥、木村 成志

大分大学 医学部 神経内科学講座

O8-7 認知症の人への介入効果を可視化する革新的介護支援機器開発

上村 直人

高知リハビリテーション専門職大学

O8-8 地域校区の百歳体操を継続支援するための簡便な評価スケールの模索

森上 美香、宮原 龍矢、徳山 翔大、佐々木 美幸、鎌田 成香、宇野 大輔、辻本 直美、
光山 勝慶

医療法人桜十字 メディメッセ桜十字予防医療センター

8:50~10:20 シンポジウム 13

「音楽療法における認知症予防と地域共生社会
(JAMM (日本音楽医療福祉協会) シンポジウム)」

座長：長田 乾 (横浜総合病院 臨床研究センター)

S13-1 音楽療法の有効性と科学的根拠

佐藤 正之 (国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター ものわすれセンター)

S13-2 現場における音楽療法の実践

近藤 真由 (東海大学 教養学部 芸術学科)

S13-3 『Community Based Music (音楽でつながる地域社会)』の活動

落合 洋司 (一般社団法人 日本音楽医療福祉協会)

10:30~12:00 シンポジウム 18

「認知症予防～日本台湾合同シンポジウム～」

座長：浦上 克哉 (鳥取大学医学部認知症予防学講座 (寄附講座))

Jack Lin (Taiwan Aging Industry Innovation Development Association)

S18-1 認知症予防～日本と台湾の交流に向けて～

浦上 克哉 (鳥取大学医学部認知症予防学講座 (寄附講座))

S18-2 Lifestyle redesign to prevent dementia～Taiwan experience

Hung-Hsun Ko (Oliver) (Extend-Hope Occupational Therapy Clinic)

S18-3 The effects of aromatherapy in Dementia patient with psychological manifestations

Paul Po-Chen Chen (Mao-yuame Director)

S18-4 Aromatherapy for Dementia Prevention in Taiwan :
Systematic Review and Evidence from Clinical and
Community Interventions

Yueh-Yuan Chang (Natural Therapy and Regimen Health Promotion)

S18-5 Personalized Non-Pharmacological Dementia Interventions in Taiwan :
Insights from 11 Years of Practice-Based Experience in Taiwan

Ju-Yi Lin (UpnGo Therapy Center/Ministry of Health and Welfare/
Ministry of Agriculture)

12:15~13:05 ランチョンセミナー 8

「認知症予防に向けた最新デジタル技術やプログラム医療機器の活用法」

座長：森下 竜一 (大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学)

演者：武田 朱公 (大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学)

共催：株式会社アイ・ブレインサイエンス

13:15~14:05

特別講演 5

「From Growing Old to Growing with SPARKLE (KA・GA・YA・KI) :
A Uniquely Singaporean Approach to Ageing-in-Place and
Dementia Care」

座長：西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）

演者：Andy Seet（PAP Community Foundation（PCF））

14:15~15:45

口演 9 「認知症予防活動・予防教室」

座 長：當山 房子（有限会社福祉ネットワーク・やえやま）

松田 美津子（福島県立医科大学附属病院）

評価委員：三嶋 崇靖（東邦大学医療センター佐倉病院脳神経内科）

09-1 認知症予防ヘルスケアプログラムの展開

黒木 祐子¹⁾、吉野 真澄¹⁾、田中 美智子²⁾、林 恵理子³⁾、中野 美香⁴⁾、岡元 飛馬⁵⁾

1) 市民団体 オレンジの華、2) 宮崎県立看護大学、3) 愛知県立大学看護学部、
4) 綾町福祉保健課地域包括係 地域包括支援センター、5) 綾町福祉保健課地域包括係

09-2 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会が 全国「検査と健康展」で展開する認知症予防活動

宮原 祥子¹⁾、河月 稔²⁾、西野 真佐美³⁾、熊谷 佳奈江⁴⁾、檜林 秀記⁵⁾、松田 美津子⁶⁾、
直田 健太郎⁷⁾、深澤 恵治⁸⁾

1) 伊那中央病院 臨床検査科、2) 鳥取大学医学部保健学科 生体制御学講座、
3) 医療法人翠清会 翠清会梶川病院 臨床検査部、4) 越谷市立病院 臨床検査科、5) 荻市民病院 検査科、
6) 福島県立医科大学附属病院 検査部、7) 聖隷浜松病院 臨床検査部、8) 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

09-3 手指と脳を活用するアクティビティ・トイが脳活動に与える影響

高橋 真悟¹⁾、黒岩 祐樹¹⁾、磯 忍²⁾、高山 陽子²⁾、加藤 大輔³⁾、富田 俊³⁾、兄玉 直樹⁴⁾

1) 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 医療情報学科、2) 芸術と遊び創造協会 高齢者アクティビティ開発センター、
3) 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科、4) 新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科

09-4 MCI ハンドブック別冊生活ノートを活用することで社会的孤立を防ぎ 認知症一次予防につながった一例

管谷 由紀子¹⁾、辻 正純²⁾

1) 医療法人社団翔洋会 事業推進室、2) 医療法人社団翔洋会 辻内科循環器科歯科クリニック

09-5 宇和島市生涯学習事業における認知症講座の開催

高村 好実、原 正樹

一般社団法人 日本予防医療推進機構

09-6 初めて参加する要介護高齢者も楽しめる アクティビティ・トイワークショップの実践

磯 忍、高山 陽子

芸術と遊び創造協会 高齢者アクティビティ開発センター

09-7 デイサービスでアロマハンドトリートメント訪問の取り組み

原 三智子

一般社団法人アロマウェルビーイング協会

09-8 歌唱と手指運動の二重課題トレーニングによる認知症予防効果の検証

笹 順恵¹⁾、倉片 憲治²⁾

1) 早稲田大学 大学院 人間科学研究科、2) 早稲田大学 人間科学学術院

09-9 「ハートフル・コグニダンス」は「心と体の合わせ鏡」

利根川 久女紅¹⁾、五月女 美幸¹⁾、尾崎 仁美¹⁾、小川 八重子¹⁾、助信 奈穂子¹⁾、福岡 かをり¹⁾、
中村 佳代¹⁾、利根川 浩一¹⁾、堀 慎二²⁾、阿部 康二³⁾、菱川 望⁴⁾、富永 典子⁵⁾、上野 豊治⁵⁾

1) 利根川Kスタジオ/日本リンパピクス協会、2) S&Hpro、3) BTRアーツ銀座クリニック、4) 倉敷平成病院、5) (株) JWI

8:50～10:20 シンポジウム 14

「地域とともに歩む認知症予防と薬剤師の役割」

座長：山田 武志（株式会社Y&A 厚生堂薬局/公益社団法人 日本薬剤師会）

S14-1 薬剤師による認知症予防～1次予防と2次予防を中心に～

安倉 央（株式会社マスカット薬局）

S14-2 北海道における薬剤師認知症対応力向上研修の取り組みについて
～医療・介護と連携するための実践的アプローチ～

片山 真二（株式会社一の薬局）

S14-3 在宅での認知症ケアの実態と「薬剤師アマネ連携会議」を定期的で開催し
顔が見える関係を構築した実例を報告する

木曾 江律子（有限会社 とらいあぐる）

10:30～12:00 シンポジウム 19

「森林環境の認知症予防効果を考える」

座長：西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）

住友 和弘（東北医科薬科大学若林病院 総合診療科）

S19-1 森林空間を活用した地方創生の取組

岸 功規（林野庁森林整備部森林利用課）

S19-2 緑地と認知機能の関連性に関するメタアナリシス

大津 唯（埼玉大学 大学院人文社会科学部研究科）

S19-3 日本国内における森林率と認知機能についての調査結果

有馬 遥太郎（東北医科薬科大学大学院医学研究科/東北医科薬科大学若林病院 薬剤部）

S19-4 認知症予防に効果的な森林内での活動プログラムの提案
—森林空間を活かした高齢者主体の活動の視点から—

郡司 聖（大阪河崎リハビリテーション大学 大学院 リハビリテーション研究科）

S19-5 認知症・うつ・フレイル予防への森林活用事例

住友 和弘（東北医科薬科大学若林病院 総合診療科/

東北医科薬科大学 医学部 老年・地域医療学教室）

12:15～13:05 ランチョンセミナー 9

「認知症性疾患治療における抑肝散加陳皮半夏の可能性—既報と自験から—」

座長：長田 乾（横浜総合病院 臨床研究センター）

演者：眞鍋 雄太（神奈川歯科大学 歯学部 臨床先端医学系認知症医科学分野
認知症・高齢者総合内科）

共催：クラシエ薬品株式会社

14:15~15:35

口演 10 「認知症と運転・AI・ロボット」

座長：児玉 直樹（新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科）

三品 雅洋（独立行政法人労働者健康安全機構 東京労災病院 脳神経内科）

評価委員：古田 晶子（順天堂東京江東高齢者医療センター メンタルクリニック/
一般社団法人 こころのケアのための芸術協会）

O10-1 もの忘れ外来受診患者における認知症患者の運転可否に関わる因子

久徳 弓子、三原 雅史
川崎医科大学 神経内科学

O10-2 脳卒中後の高齢患者の自動車運転再開に対する心理面と生活変化

眞辺 拓人¹⁾、石元 美知子¹⁾、森木 章人²⁾
1)医療法人治久会 もみのき病院 リハビリテーション科、2)医療法人治久会 もみのき病院 脳神経外科

O10-3 千歳市高齢ドライバーサポート事業参加者の運転技能の変化～縦断研究～

佐々木 努¹⁾、山北 武²⁾、山田 恭平¹⁾、作田 直人³⁾、吉田 肇⁴⁾、富永 壮⁵⁾
1)北海道千歳リハビリテーション大学、2)千歳市介護予防センター、3)千歳病院、4)千歳市向陽台区地域包括支援センター、
5)千歳市北区地域包括支援センター

O10-4 高齢ドライバーのアクセルブレーキ特性に関する基礎調査

鈴木 美緒¹⁾、岩越 和紀²⁾、永富 泰次³⁾
1)東海大学、2)NPO法人高齢者安全運転支援研究会、3)株式会社デンソー

O10-5 高齢ドライバーの身体と運転への関心の関連性

平塚 喜之¹⁾、鈴木 美緒²⁾、並木 靖幸¹⁾
1)NPO法人高齢者安全運転支援研究会、2)東海大学

O10-6 コミュニケーションロボットによる高齢者運転支援の実用化に向けた効果検証 ～産学連携で挑む、安全運転を支える新技術～

佐藤 彩子¹⁾、田中 貴紘²⁾、時野 学³⁾、浅田 克子³⁾、亀井 俊之⁴⁾、佐藤 和貴⁴⁾、佐藤 太亮⁵⁾
1)住友商事株式会社 自動車グループ Beyond Mobility SBU、2)名古屋大学 未来社会創造機構、3)八尾自動車教習所、
4)シャープ株式会社、5)株式会社ボットスチル

O10-7 動画コンテンツを利用したデジタルセラピーによる 高齢者への認知機能低下予防の構想

二田 亮¹⁾、板木 雅俊²⁾、下江 甲作¹⁾、新田 博之³⁾、西中川 剛⁴⁾
1)医療法人 参天会 きいれセントラルクリニック リハビリテーション部、
2)医療法人 参天会 介護老人保健施設 サンシャインきいれ リハビリテーション部、3)医療法人 参天会 理事長、
4)関西医科大学 リハビリテーション学部 理学療法学科

O10-8 スマホアプリ活用による実運転データに基づく高齢ドライバー運転技能の 経年変化モニタリングの基礎的検討

永富 泰次¹⁾、黒田 健史¹⁾、石川 牧子¹⁾、鈴木 美緒²⁾
1)株式会社デンソー、2)東海大学

第5会場 6F 606

8:50~10:20 シンポジウム 15

「認知症予防専門テキスト「看護・ケア編」の4人の執筆者によるポイントトーク」

座長：高澤 留美子（日本の介護株式会社）

安部 明夫（安部第一医院/大分大学医学部神経内科）

S15-1 認知症に対するチームケア・多職種連携

松井 幸子（大阪信愛学院大学 看護学部）

S15-2 認知症看護・ケアの基本的な考え方

山本 美輪（香川大学 医学部 看護学科老年看護学）

S15-3 パーソン・センタード・ケア

西村 美穂（香川大学 医学部 老年看護学講座）

S15-4 チームケアと家族

三好 陽子（鳥取大学 医学部 保健学科）

10:30～12:00 シンポジウム 20

「認知症予防専門臨床検査技師が展開する「認知症予防活動」と「認知症予防事業」

座長：松熊 美千代（三井記念病院 臨床検査部）

宮原 祥子（伊那中央病院 臨床検査科）

S20-1 みんなで活躍！完成！認知症予防スライド

河月 稔（鳥取大学 医学部 保健学科 生体制御学講座）

S20-2 思いはこうして実践！認知症予防活動

小田 実千代（医療法人社団 重会 北須磨病院）

S20-3 起業して社会に挑戦！認知症予防事業

高村 好実（一般社団法人 日本予防医療推進機構）

14:15～15:35 口演 11 「認知症予防と生活習慣病」

座 長：山本 泰司（神戸大学保健管理センター・医学系研究科病態情報学）

木村 成志（大分大学医学部脳神経内科）

評価委員：有川 量崇（日本大学松戸歯学部衛生学講座）

O11-1 高齢者における客観的に測定された会話時間と社会的行動の関係

木村 成志¹⁾、増田 曜章¹⁾、安高 拓弥¹⁾、松原 悦朗²⁾

1) 大分大学 医学部 脳神経内科、2) 白杵市医師会 認知症先端医療学研究所

O11-2 身体と脳の健康意識向上にむけた取り組み～のう KNOW と MMSE を活用して～

佐藤 千春¹⁾、矢野 史朗¹⁾、渡邊 直子¹⁾、吉田 敦子¹⁾、新名 絵里香¹⁾、阿南 章子¹⁾、藤野 孝雄²⁾

1) 白杵市医師会立市民健康管理センター、2) 藤野循環器科内科医院

O11-3 高齢者施設入居者の食行動に及ぼす食環境の影響

橘 由佳¹⁾、灰藤 友理子²⁾、原島 哲志^{3,4)}、川瀬 敦士^{3,4)}、川瀬 裕士^{3,4)}、若村 智子⁵⁾、宮脇 尚志⁶⁾、米浪 直子⁶⁾

1) 京都女子大学大学院 家政学研究科 生活環境学専攻 食物栄養学領域、

2) 京都女子大学大学院 家政学研究科 食物栄養学専攻、3) 川瀬神経内科クリニック、4) 本成寺安心住宅かえるハウス、

5) 京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻、6) 京都女子大学 家政学部 食物栄養学科

O11-4 在宅要介護高齢者の口腔機能向上の取り組みについて

鈴木 絵美^{1,2,3)}、加藤 綾³⁾、松坂 ひろみ³⁾、植村 駿也^{1,3)}、宇佐見 信子³⁾、西田 浩伸³⁾、

綾塚 裕司³⁾、渋谷 拓郎^{1,2)}、毛利 元和^{1,2,3)}、尾崎 聡^{1,2,3)}

1) 医療法人社団NALUえびな脳神経クリニック、2) 医療法人社団NALUトータルケアガーデン湘南海老名クリニック、

3) 医療法人社団NALU通所介護事業所Akala

O11-5 認知機能が低下している患者への脳波検査実施時の対応の工夫

～認定認知症領域臨床検査技師の指定講習会を通して～

服部 愛¹⁾、水沼 祐奈¹⁾、八木 絵理子¹⁾、武藤 完¹⁾、武田 倫明¹⁾、武田 むつき³⁾、池谷 直樹^{2,4)}

1) 横浜市立大学附属病院 生理検査室、2) 横浜市立大学大学院医科学研究科 脳神経外科学、

3) 横浜市立大学付属病院 神経内科・脳卒中科、4) 横浜市立大学附属病院 脳神経外科

O11-6 当院の補聴器診療における認知機能検査介入の有効性と 認定認知症専門検査技師としての関わり方

阿部 朋子¹⁾、佐藤 輝幸²⁾、太田 伸男²⁾、小堺 利恵¹⁾、高橋 伸一郎¹⁾

1) 東北医科薬科大学病院 検査部、2) 東北医科薬科大学病院 耳鼻咽喉科

O11-7 高齢者における認知機能と睡眠効率および中途覚醒時間との関係

深町 郁葉¹⁾、野田 明子¹⁾、山崎 球人¹⁾、奥田 将人²⁾、田口 真源³⁾

1) 中部大学大学院 生命健康科学研究科、2) たじみすいみんクリニック、3) 医療法人静風会大垣病院

O11-8 高齢者の睡眠時間とフレイル評価—認知機能との関係性—

長山 あゆみ¹⁾、橋口 昭大¹⁾、石田 明夫²⁾、渡嘉敷 崇¹⁾

1) 国立病院機構 沖縄病院、2) 琉球大学病院

第6会場 7F 701

8:50~9:30 教育講演 5

「認知機能低下に対する園芸療法、アクティビティの効果」

座長：涌谷 陽介（倉敷平成病院 神経内科・認知症疾患医療センター）

演者：西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）

9:40~10:20 教育講演 6

「神経疾患における認知機能障害と治療介入」

座長：濱野 忠則（金沢医科大学高齢医学講座）

演者：水間 敦士（東海大学医学部 内科学系脳神経内科）

10:30~11:10 教育講演 7

「神経疾患における治療と仕事の両立支援～認知症の就労を考える～」

座長：山本 泰司（神戸大学保健管理センター・医学系研究科病態情報学）

演者：萩原 悠太（聖マリアンナ医科大学 脳神経内科）

11:20~12:00 教育講演 8

「奇跡の復活！脳を鍛える「沼尾式音読体操」～言葉を取り戻すまでの私の歩み」

座長：長田 乾（横浜総合病院 臨床研究センター）

演者：沼尾 ひろ子（アナウンサー/ナレーター）

14:15~15:35 口演 12 「認知症と社会的孤立・BPSD・治療」

座長：西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）

湯浅 直樹（湯浅クリニック）

評価委員：武川 吉和（平塚共済病院 心身医療科）

O12-1 外出支援で広がる笑顔と多職種連携による認知症予防活動の取り組み

武嶋 佑果¹⁾、小田 奈美²⁾、松本 花菜子³⁾、田村 希加³⁾、内田 泰史⁴⁾

1) 医療法人恕泉会 内田脳神経外科 検査科、2) 内田脳神経外科 事務部、3) 医療法人治久会 もみのき病院 事務部、

4) 内田脳神経外科 理事長

O12-2 認知症疾患医療センターとデイケアで協働した認知症の人の社会的孤立への取り組み

大津 真由¹⁾、小倉 綾乃¹⁾、山田 裕資²⁾、丸山 優香²⁾

1) 北柏リハビリ総合病院 認知症疾患医療センター、2) 北柏ナーシングケアセンター

O12-3 音楽を活用した認知症カフェの効果—コグニサイズと手話歌を取り入れて—

松野 敦子、鈴木 晶子

熱海所記念病院

O12-4 地域在住高齢者における主観的な役割意識と軽度認知障害との関連：和光コホート研究

村山 洋史¹⁾、横山 友里¹⁾、野藤 悠¹⁾、上野 貴之¹⁾、阿部 巧^{1,2)}、小川 将¹⁾、鈴木 宏幸¹⁾、野中 久美子¹⁾

1) 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加とヘルシーエイジング研究チーム、2) 明治大学

- O12-5 柗記念病院でのブレクスピプラゾール処方患者背景と有効性・安全性の評価
～認知症予防専門薬剤師の視点から～
斎藤 剛志
医療法人 辰星会 柗記念病院薬剤科
- O12-6 自我状態療法の理論に基づいた BPSD への理解と対応方法について
伴 正海^{1,2,3)}
1)医療法人社団 おうちの診療所、2)医療法人社団彰耀会 メモリーケアクリニック湘南、3)秋葉原内科saveクリニック
- O12-7 高齢者・認知症患者割合の高い病院における
睡眠薬・抗精神病薬の使用傾向の変遷
～認知症ケアチームの活動とのリンク～
牧 俊之¹⁾、瀬々 彩香²⁾、上野 真生²⁾、高橋 鉄平²⁾、安高 拓弥⁵⁾、衛藤 健志³⁾、藤野 孝雄⁴⁾、
木村 成志⁵⁾
1)白杵市医師会立コスモス病院 薬剤部、2)白杵市医師会立コスモス病院、3)白杵市医師会立コスモス病院 循環器内科、
4)藤野循環器科内科医院、5)大分大学医学部 神経内科学講座
- O12-8 「アセチルコリンエステラーゼ阻害剤 (ChE-I) に、もっと光を」
アリドネパッチの試用経験
井手 芳彦、福田 隆浩、日和田 正俊、岸川 真帆、松尾 なみき、溝上 由紀子、安森 七海、
吉田 晋平
長崎県地域型認知症疾患医療センター 社会医療法人白十字会 佐世保中央病院

ダンスプログラム 6F 605

- 13:15～14:05 ダンスプログラム
「使い勝手の良い心と体のメンテナンス「ハートフル・コグニダンス」」
講師：利根川 久女紅（利根川 K スタジオ/日本リンパピクス協会）

ポスター会場 1 6F 607

- 14:15～15:05 ポスター 7 「認知症診断・その他」
座 長：石渡 明子（日本医科大学 脳神経内科）
評価委員：池田 佳生（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学）
- P7-1 地域連携薬局との連携による認知機能セルフチェッカー活用と
認知症スクリーニング体制の構築
水間 敦士、白藤 優成、中山 平、安部 貴人、永田 栄一郎
東海大学医学部 内科学系脳神経内科
- P7-2 高次脳機能障害患者における認知症検出の試み
米山 友美¹⁾、花城 詩菜¹⁾、永山 千恵子¹⁾、岩口 佳弥¹⁾、鈴木 遥子²⁾、寺嶋 咲稀¹⁾、青木 重陽¹⁾、
瀧澤 俊也¹⁾
1)神奈川リハビリテーション病院、2)東海大学病医学部専門診療学系精神科学
- P7-3 基本チェックリストの各領域が認知領域に与える影響
寺田 侑真^{1,2)}、中北 智士^{1,2)}
1)社会医療法人 三車会 貴志川リハビリテーション病院、2)紀の川市役所 福祉部 高齢介護課
- P7-4 離島で生活する高齢者の認知機能に影響する要因の検討
西本 亜希子¹⁾、荒木 さおり¹⁾、小川 智子¹⁾、吉松 恵子¹⁾、下田 有紀²⁾、青田 和恵³⁾、
大田 一樹³⁾、浦上 克哉²⁾
1)鳥根県立大学 看護栄養学部 看護学科、2)鳥根県立大学 医学部 認知症予防学講座（寄付講座）、
3)隠岐の島町役場 保健福祉課 地域包括支援センター

- P7-5 地域住民向けイベント「糖尿病フェスタ」における認知機能スクリーニングの意義—MSP-1100を用いた啓発活動の有用性—
日浦 義和、大本 真紀子
大阪市立十三市民病院

- 15:05~15:55 ポスター 10 「認知症予防活動・予防教室」
座 長：塩崎 一昌（横浜市総合保健医療センター）
評価委員：濱野 忠則（金沢医科大学高齢医学講座）

- P10-1 高齢者施設のマンパワー不足がもたらす負の影響を軽減する
会話支援技術共想法の効用
永田 映子^{1,2,3)}、大武 美保子^{2,3)}
1)介護老人保健施設 マカベシルバートピア、2)NPO法人 ほのほの研究所、3)特定国立研究開発法人 理化学研究所
- P10-2 認知症予防を一日で体験する街歩き共想法のデザインと社会的価値の発見
根岸 勝壽^{1,2)}、田口 良江^{1,2)}、永田 映子^{1,2)}、松村 光輝^{1,2)}、長久 秀子^{1,2)}、魚谷 茜^{1,2)}、鈴木 晃^{1,2)}、
吉田 美枝子^{1,2)}、三浦 眞代^{1,2)}、渡部 はるか^{1,2)}、大武 美穂子^{1,2)}
1)特定非営利活動法人ほのほの研究所、2)国立研究開発法人理化学研究所
- P10-3 健身気功の利点と可能性
加藤 美代子
- P10-4 認知症機能低下予防を目的とした作業療法プログラムの効果検証
上城 憲司¹⁾、兼田 絵美²⁾、見形 紘子¹⁾、菅沼 一平³⁾、鈴木 明宏⁴⁾
1)宝塚医療大学、2)東京医療保健大学、3)京都橘大学、4)一関工業高等専門学校
- P10-5 音楽を用いた二重課題による介護予防の方法と様々な可能性
関根 薫¹⁾、佐島 毅²⁾
1)医療法人財団新生会、2)筑波大学 人間系

ポスター会場 2 6F 608

- 14:15~14:55 ポスター 8 「共生社会・まちづくり 2」
座 長：河月 稔（鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座）
評価委員：江成 典子（MTK衛生検査センター）
- P8-1 認知症予防専門臨床検査技師、キャラバンメイトにもなってみた！
小田 実千代
医療法人社団 董会 北須磨病院
- P8-2 認知症領域検査技師が認知症サポーター養成講座での地域との関わりへの取り組み
清水 友美
戸田中央メディカルケアグループ 東所沢病院
- P8-3 安心して認知症でいられる居場所作りは、認知症の社会からの孤立を
本当に解消するのか？「スペースひだまり」の挑戦
神馬 幸子
株式会社つながり スペースひだまり
- P8-4 認知症カフェへボランティアとして参加した看護系大学生の
高齢者イメージ変化に関する研究
前田 純佳、池田 彩加、荒井 葉子、木宮 高代
福山平成大学 看護学部 看護学科

15:05～15:55 **ポスター 11 「地域ケア・人材育成」**
 座　　長：小林　良太（山形大学医学部精神医学講座）
 評価委員：水間　敦士（東海大学医学部　内科学系脳神経内科）

- P11-1 **地域における認知症予防学術活動の実装と持続可能な運営体制の構築
—日本認知症予防学会神奈川県支部運営の実践と課題—**
 福永　則子、内門　大丈
 医療法人社団彰耀会　メモリーケアクリニック湘南
- P11-2 **地域ケア会議における理学療法士の助言内容も特徴とその変化：
2 期間の後ろ向き比較分析**
 龍神　正導¹⁾、見形　紘子²⁾、左巴　誠人³⁾、今西　直美⁴⁾、兼田　絵美⁵⁾、上城　憲司²⁾
 1) 龍神整形外科　リハビリテーション科、2) 宝塚医療大学、3) 和歌山市社会福祉協議会、4) 地域包括支援センター高松、
 5) 東京医療保健大学
- P11-3 **認知症 VR 映像での一人称視点体験が促す看護学生への効果＜第 1 報＞
VR 映像視聴に伴う認知症の人への態度変容の検証**
 近藤　孝朗¹⁾、菊　奏璃¹⁾、武田　朋子¹⁾、松浦　万紀¹⁾、中道　淳子¹⁾、大橋　史弥¹⁾、宮本　菜々恵²⁾、
 高岡　茉奈美³⁾、松本　博成⁴⁾、五十嵐　歩³⁾
 1) 石川県立看護大学、2) 金城大学、3) 千葉大学大学院、4) 東京大学大学院
- P11-4 **認知症 VR 映像での一人称視点が促す看護学生への効果＜第 2 報＞
グループインタビューによる看護学生の気づき**
 中道　淳子¹⁾、菊　奏璃¹⁾、武田　朋子¹⁾、松浦　万紀¹⁾、近藤　孝朗¹⁾、大橋　史弥¹⁾、宮本　菜々恵²⁾、
 高岡　茉奈美³⁾、松本　博成⁴⁾、五十嵐　歩³⁾
 1) 石川県立看護大学、2) 金城大学、3) 千葉大学大学院、4) 東京大学大学院
- P11-5 **大学生に対しての認知症サポーター養成講座を通しての意識変化
～地域で繋がる次世代への認知症の理解と啓発～**
 岡藤　農¹⁾、松永　尚治²⁾
 1) 医療法人　松永会　まつなが医院　リハビリテーション科、2) 医療法人松永会　まつなが医院　内科

ポスター会場 3　6F　609

14:15～15:15 **ポスター 9 「認知症の人・家族への支援」**
 座　　長：高澤　留美子（日本の介護株式会社）
 評価委員：中根　一（帝京大学医学部附属溝口病院　脳神経外科）

- P9-1 **病棟看護師が行う認知症高齢者の退院支援—意思決定支援に関する実態調査—**
 久保　のどか、武田　明莉、大橋　史弥、近藤　孝朗、中道　淳子
 石川県立看護大学
- P9-2 **地域在住高齢者における介護経験の有無による生活機能の比較検討**
 兼田　絵美¹⁾、見形　紘子²⁾、久保　英樹³⁾、菅沼　一平⁴⁾、上城　憲司²⁾
 1) 東京医療保健大学　和歌山看護学部、2) 宝塚医療大学、3) 静岡県立大学短期大学部、4) 京都橘大学
- P9-3 **外来と在宅の両輪で支える認知症ケアの継続性：
初期集中支援事業からのシームレスな医療連携の実践**
 松崎　美香子、倉田　良恵、野田　春希、本間　朱莉、上條　亮、吉田　勝臣、伴　正海、内門　大丈
 医療法人社団彰耀会　メモリーケアクリニック湘南
- P9-4 **神奈川県連携型認知症疾患医療センター　メモリーケアクリニック湘南
事業実績報告**
 上條　亮、倉田　良恵、松崎　美香子、本間　朱莉、福永　則子、内門　大丈
 医療法人社団彰耀会　メモリーケアクリニック湘南
- P9-5 **認知症と Well-being に関する研究動向の分析**
 金屋　佑子
 和洋女子大学看護学部

P9-6 抗アミロイド β 抗体治療におけるフォローアップ施設での看護師の取り組み
倉田 良恵、佐藤 鮎子、松崎 美香子、鈴木 あゆみ、田崎 志穂、内門 大丈
メモリーケアクリニック湘南

15:15~15:55 ポスター 12 「認知症予防」
座 長：横田 優樹（さくらさく診療所/日本大学医学部内科学系神経内科学分野）
評価委員：安田 秀（NTT東日本伊豆病院）

P12-1 ひとりでも認知症になっても、心豊かに暮らすことができる
終身サポート支援について
上田 利枝
一般社団法人 キラメキ社会福祉士事務所

P12-2 統合的な介入プログラム「3ReS（スリーレス）」導入による
グループホーム入居者の認知症症状の変化及び施設職員に対する影響
岸田 智行¹⁾、新庄 一範¹⁾、越野 正信¹⁾、奥井 まどか¹⁾、瀬口 綾香¹⁾、今野 裕之²⁾
1)ニューワーズ株式会社、2)一般社団法人日本ブレインケア・認知症予防研究所

P12-3 バランス環境の設定による認知症リハビリ効果の検証
西出 典嗣
株式会社 環境科学研究所 研究員

P12-4 科学的に正しい認知症予防の紙芝居
高橋 洋樹、高橋 美保子
運動療法 あいおい

プログラム 第3日目 9月14日(日)

第1会場 3F コスモスI

9:00~9:50 特別講演 6

「便秘と認知症」

座長：荒井 啓行（東北大学名誉教授）

演者：長田 乾（横浜総合病院・横浜市認知症疾患医療センター）

10:00~11:30 シンポジウム 22

「「地域で考える共生～医療・介護・市民の視点から」

地域共生全国ネット鶴岡大会プレ大会」

座長：小倉 和也（医療法人 はちのへファミリークリニック 理事長・院長/
NPO法人 地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク
共同代表）

S22-1 地域での認知症予防と支援について 認知症専門医の立場から

内田 直樹（医療法人すずらん会たろうクリニック）

S22-2 認知症予防は専門家の話？それとも私・地域の話？

瀬尾 利加子（株式会社瀬尾医療連携事務所）

S22-3 2024 Forbes Japan 世界を救う 100 の希望選出された認知症ケアの実践と炎上

菅原 健介（株式会社ぐるんとびー）

12:10~13:00 ランチョンセミナー 10

「嗅覚機能検査の認知症早期発見への有用性」

座長：古橋 淳夫（医療法人 古橋会 揖保川病院）

1 嗅覚機能検査は認知症早期発見と予防に期待できる！

浦上 克哉（鳥取大学医学部認知症予防学講座（寄附講座））

2 軽度認知障害、認知症疾患における嗅覚機能検査（ニンテスト）の有用性

平田 尚士（医療法人 古橋会 揖保川病院）

共催：小林製薬株式会社

13:30~16:00 市民公開講座

「新しい時代の認知症予防と地域共生社会」

座長：西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）

杉江 和馬（奈良県立医科大学 脳神経内科）

1 知って欲しい！正しい認知症予防

浦上 克哉（鳥取大学医学部認知症予防学講座（寄附講座））

2 第15回日本認知症予防学会学術集会に向けて

池田 佳生（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学）

3 特別講演

徳光 和夫（フリーアナウンサー）

トークコーナー

第3会場 5F オリオン

12:10~13:00 ランチョンセミナー 11

「認知症に関する正しい知識の普及を通じて地域共生社会に貢献」

座長：池田 佳生（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学）

1 認知症の早期発見と認知症予防の取り組み

児玉 直樹（新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科）

2 認知症に関する正しい知識の普及を通じて地域共生社会に貢献

鬼頭 哲也（三井住友海上あいおい生命保険株式会社 デジタルイノベーション部
ヘルスケア推進グループ）

杉山 智子（三井住友海上あいおい生命保険株式会社 デジタルイノベーション部
ヘルスケア推進グループ）

共催：三井住友海上あいおい生命保険株式会社

第4会場 6F 601

12:10~13:00 ランチョンセミナー 12

「レビー小体型認知症における neuromodulation

—経皮的頭蓋微弱超音波刺激装置の可能性」

座長：内門 大丈（メモリーケアクリニック湘南）

演者：眞鍋 雄太（神奈川歯科大学 歯学部 臨床先端医学系 認知症医科学分野
認知症・高齢者総合内科）

共催：株式会社上山製作所